授業科目名・形態	精神保健福祉の原理Ⅱ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	駒ヶ嶺　裕子	実務経験の有無	無	開講期	3 年後期
科目ナンバリング	W4-3021p				

【授業の主題】

社会福祉専門職の資格制度化や精神保健福祉士資格制定の経緯を学ぶ。その上で、精神保健福祉士が行う支援活動の意義・目的・価値・原則を理解する。また、精神障害者固有の生活のしづらさを理解し、生活支援のための技術を学ぶ。

【到達目標】

1.「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組みについて理解する。
2. 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を理解し、精神障害者の生活実態について学ぶ。
3.疾病と障害を併せ持つ当事者の社会的立場や処遇の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。
4. 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション・授業の進め方の説明・精神科医療による生活への影響
第 2 回　精神障害者の家族が置かれている状況
第 3 回　精神障害者の社会生活の実際
第 4 回　メンタルヘルスをめぐる新たな課題
第 5 回　精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程
第 6 回　精神保健福祉士による実践の価値･原理①
第 7 回　精神保健福祉士による実践の価値･原理②
第 8 回　精神保健福祉士による実践の視野や視点
第 9 回　援助における関係性①
第 10 回　援助における関係性②
第 11 回　精神保健福祉士法の理解
第 12 回　精神保健福祉士の職業倫理
第 13 回　精神保健福祉士の業務特性と業務指針
第 14 回　精神保健福祉士の職場・職域
第 15 回　精神保健福祉士の業務内容とその特性・講義のまとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。レジュメを配布し、パワーポイントを用い、授業展開する。また、適宜、新聞や映像資料等を適宜使用し、双方向性授業を図る。

【事前・事後学習】

教科書、レジュメ、ワークシート、試験対策等を含め、毎回2時間の予習及び2時間の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉の原理Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：最新・精神保健福祉士養成講座5　『精神保健福祉の原理』中央法規　2021

【参考文献】

特になし。テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験または期末レポート（90%）、課題提出や授業への取り組み姿勢（10%）で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めること。なお、「精神保健福祉の原理Ⅰ」と「精神保健福祉の原理のⅡ」の科目は同じテキストを使用する